

# 平成22年度予算に対する 各会派の見解

## 地方分権に逆行する国の施策に問題

自由民主党議員団

私達は「新しい中野をつくる10か年計画(第2次)」の改定にあたり、特に区の提示する10か年の財政フレームに注目し、慎重に審議を重ねてまいりました。平成22年度はその初年度にあたりますが、景気低迷による税収不足は今後3年間、厳しい財政運営を覚悟しなければなりません。そうした状況の中、区民からの要望でもあります産業活性化を推進するために、まちづくりへの取り組みや、充実した産業振興施策を実施しました。また、警察大学校等跡地に、消防団の防災訓練用地や、ゲートボールなど軽スポーツができる場所を整備することなども、推進いたしました。

そして、今後の大きな問題として、一般財源に大きな影響を与え続ける「子ども手当」があります。これは新政権が発足時に全額、国の負担で行うとしていましたが、急にこれを転換し、各地方自治体に財源の一部負担を強制するものです。この中野区負担額は2億2千万円余となります。

そもそも、国の一般財源の約半分は借金です。財源なき、このようなバラマキ手当を継続していくと、国・都・区も借金体質からの退却は困難になります。ある部分を抜き出して「コンクリートから人へ」などと、国民を欺くような手法は断じて許すわけにはならないと考えています。

## 区民生活尻目に大型開発温存の予算

日本共産党議員団

経済危機のもとで、区民の暮らしは深刻さを増しています。特別区民税と特別区交付金も大幅な減収です。それだけに大不況から区民生活を守ることを最重点に予算を組むことが求められました。ところが、中野地区基盤整備をはじめ駅周辺の大型開発事業は立ち止まることもなく聖域化しています。

一方、特別支援学級連合宿泊学習や食事サービスなどは、関係者から存続を求める声が強く、ささやかな支出であつても廃止してしまうといった冷淡さです。

ヒブワクチン接種助成や障害者雇用奨励金、私立幼稚園等保護者補助などは、区民要望もあり評価できますが、一層の区民要求に応えるべきでした。例えば、中野区だけが未実施の後期高齢者健診の無料化や木造住宅耐震補強工事助成、住宅太陽光発電システムの設置補助などの実施が待たれているのに行なおうとしません。さらに、後期高齢者の葬祭費給付は、現行の7万円から5万円に減らされます。他の22区では2万円を上乗せして現行の7万円給付を存続するのに、中野区はそれさえ行ないません。また、保育園の待機児は今年度以上に増えています。区は抜本的な解消策がとれないままです。認可保育園の増設が必要です。

あまりにも区民とかけ離れた逆立ちした予算といわなければなりません。

## 果敢な財政運営で区民生活を守れ!

公明党議員団

平成22年度一般会計予算総額は、9億63億円で、前年度比62億円余、6.1%の減となりました。

歳入面では、特別区税が287億円余、前年度比25億円余、8.4%の大幅な減となり、平成16年以来の減少です。特別区交付金は2年連続の減少、前年度比23億円、7.1%減の302億円となりました。

歳出面では、我が会派が強く要望してきた、ヒブワクチン接種助成の制度創設、成年後見制度の推進、私立幼稚園等保護者補助の増額、中小企業事業資金の調達支援拡充等、区民生活を支える施策の充実が図られたことと、西武新宿線連続立体交差化及び沿線まちづくりの推進を始め、安全で安心な暮らしやすいまちづくりを進めるとの姿勢を示した点は評価致します。

なお、公明党として要望した、喫緊の課題である保育園待機児童の解消を、早急に具体化するよう重ねて求めます。

中野区の財政運営を考慮し、複数年にわたる財政調整基金繰り入れに節度を持つこと、加えて、23年度以降は、さらなる歳入の確保と、事業全体の歳出抑制に向けての見直しが不可欠です。予算執行では、知恵と工夫を凝らした一層の無駄を排する姿勢が重要であり、今後の景気の動向によっては、事業計画の進行について柔軟な判断をする必要があることも指摘しておきます。

## 区民によりそった区政運営を

民主クラブ

平成22年度一般会計予算は特別区民税や特別区財政調整交付金の大幅な減収の中、一般財源は二年連続の減少となり非常に厳しい財政運営になります。

このような状況の中では、区民の皆さんが望まれる施策を「あれや・これや」と厳しく選択していかなければなりません。

歳出の中でヒブワクチン接種の公費助成、保育園待機児童の解消に向けた認証保育所及び家庭福祉員の拡充、虐待防止のための要支援家庭サポート事業などは一定の評価をいたします。

しかし、その他事業の改善にあたっては優先順位の問題があります。

キッズ・プラザや(仮称)区民活動センターへの転換など、計画を突き進むのではなく、先行の事例をよく検証しながらの見直しも必要です。

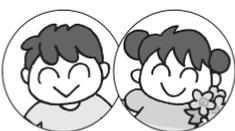
また、事前に十分な説明もなく、公益活動情報コーナーの廃止、地域ニュースの印刷・配布方法や特別支援学級宿泊学習見直しなど、丁寧なやり方をすれば理解できる場所があつても、唐突な提示に区民の立場に立った目線が感じられません。

計画の先送りではなく規模の縮小、あるいは政策的な選択をし、新規事業に対する投資を抑えるべきと考えます。情報公開と説明責任をしっかりとし、痛みを共有していかねばなりません。

### キッズページ

### みんなごみてね 「わたしたちの中野区議会」

中野区議会ホームページのキッズページでは、議会のしくみをわかりやすく説明しています。ホームページの「わたしたちの中野区議会」の中に掲載しています。どうぞご利用ください。



### 中野区議会ホームページをご利用ください

中野区議会では、いち早く区民のみなさまへ情報をお届けするため、ホームページを開設しています。会議録、委員会資料、議員紹介、区議会からのお知らせなどがご覧いただけます。ぜひご利用ください。